

第73回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月15日(木)

2回戦	石巻市民球場	2時間	36分																			
柴田	田	3	2	0	0	0	1	0	0	0	6	【柴】	35	8	4	1	2	5	8	9	1	0
八戸学院光星	星	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	【八】	32	7	2	1	2	7	3	12	2	0
(球)	西尾新一	(一)	湊尚美	(二)	雁部博昭	(三)	森山宏則					▽本塁打										
【柴】	谷木											▽三塁打							横山(八)			
【八】	太田,横山,渡部,森,洗平											▽二塁打							菅野			(柴)
▽暴投	谷木(柴),横山(八)											▽捕逸							北浦			(八)

【評】
柴田高校が八戸学院光星を破り、準々決勝に駒を進めた。柴田高校は初回に、先頭我妻の右翼前安打から、犠打と四球で一死1・2塁とし、4番菅野の右翼線2塁打で先制した。その後捕逸などによる追加点で3-0とし、続く2回にも相手守備のミスや内野安打などで2点を追加した。6回に二死からの3連打で追加点を挙げて相手を引き離れた。
一方の八戸学院光星は4回に7番須藤の出塁から9番横山の左中間3塁打や2番伊藤の左翼への安打で2点を返したが、7回の無死1・2塁の好機を抑えられた。投手5人で反撃を図ったが、実らなかった。

2回戦	石巻市民球場	1時間	44分																			
福島商業	商	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	【福】	29	6	3	0	0	1	5	6	2	1
八戸西	西	0	1	1	5	1	0	2x			10	【八】	25	10	10	2	4	3	1	3	1	0
(球)	佐藤拓哉	(一)	小松宗夫	(二)	太田博昭	(三)	渡辺明夫					▽本塁打							廣田(八)			
【福】	浅倉											▽三塁打							熊坂,小室(福),西谷(八)			
【八】	福島											▽二塁打							飯塚,田中(福)			(福)
▽暴投	浅倉2,福島2											▽捕逸							西谷,福島,廣田			(八)

【評】
八戸西高校が7回コールドで福島商業高校を退けた。
先制したのは福島商業。2回表、一死一・三塁から7番熊坂が右翼越えの三塁打で2点を先制。3回表にも2本の長打で1点を追加し、序盤は福島商業のペースで試合が進んだ。
しかし、八戸西は2回・3回に1点ずつ返すと、4回裏には1死満塁から、9番福島が2塁打を放ち、一気に逆転に成功。その後、8対3として迎えた7回裏には1死1塁からこの試合すでに3安打の廣田が2点本塁打を放ち、試合を決めた。福島商業は4回以降打線が振るわなかった。

2回戦	仙台市民球場	2時間	25分																			
東日大昌平	平	4	0	1	2	0	0	0	2	0	9	【東】	37	14	8	2	4	7	8	12	1	2
一関学院	院	0	0	0	3	2	1	0	0	0	6	【一】	34	10	6	2	2	2	5	5	1	0
(球)	浅利卓美	(一)	小松健春	(二)	沼辺力也	(三)	細川和行					▽本塁打										
【東】	矢板,鈴木											▽三塁打							岸田,邊見(東)			
【一】	伊藤,千葉華,奥谷											▽二塁打							坂本			(東)
▽暴投	奥谷(一)											▽捕逸							鈴木幹			(一)

【評】
追い上げる一関学院を振り切り東日大昌平が地力の差を見せた。初回東日大昌平は、好機から5番岸田、6番金井の連続適時打等で4点を先制すると3回、4回にも着実に加点し、一時7点差までリードを広げた。
追う一関学院は、4回裏無死二塁から4連打と犠飛で3点を返すと一気に追い上げムードになり、6回二死二塁か1番佐藤拓の中前適時打で1点差とした。しかし、その後は東日大昌平二番手鈴木が踏ん張り一関学院打線を封じ込めた。8回にも追加点を上げた東日大昌平が福島第1代表の意地を見せ初戦を飾った。

2回戦	仙台市民球場	2時間	24分																			
角巻	館	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	【角】	34	5	1	3	0	2	11	8	2	0
花巻東	東	1	0	0	0	0	0	0	0	1x	2	【花】	32	7	2	2	2	5	4	11	3	1
(球)	吉田将則(福島)	(一)	鵜田代志昭	(二)	水戸恭平	(三)	曾根徳明					▽本塁打										
【角】	武田											▽三塁打										
【花】	中居,菱川											▽二塁打							伊藤慧,原			(角)
▽暴投	菱川1(花)											▽捕逸							菱川			(花)

【評】
花巻東が9回サヨナラ犠飛で勝利をつかみベスト8へ進出した。
花巻東は初回4番菱川の左中間を抜く二塁打で先制。粘る角館は8回死球、失策などで作った1死1・3塁の好機で3番木村の併殺崩れの間1点をあげ追いついた。しかし、花巻東打線も2回以降角館エース武田の要所を締める投球の前に点数を取ることができず苦しんだが、9回裏先頭打者の死球をきっかけに作った1死満塁に三番佐藤(史)が左翼への犠飛を放ち勝負を決めた。